

雪氷対策の新たな取組み

当社の巡回車や高速バスにWEBカメラを搭載し、ドライバー目線による視程状況の確認や除雪作業車のGPSから除雪作業の進捗など、リアルタイムに情報を収集し、気象状況に応じた的確な雪氷作業を行います。これにより常に安全・快適な走行環境維持に努めます。更にGPSを活用し、除雪作業の進捗に応じた情報提供なども昨年より実施しています

①. ITS技術を活用した取組み

天候・路面状況をドライバー目線で確認



WEBカメラ等の情報から最適な除雪を指示



②. 雪氷対策の施設について

《視程障害対策》

視線誘導源(自発光スノーポール)、防雪柵、吹雪防止林、雪崩防止柵等の設置をしております。



自発光スノーポール
(深川IC～旭川鷹栖IC間)



吹雪防止林
(江別東IC～岩見沢IC間)



雪崩防止柵
(江別西IC～江別東IC間)